

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600109
事業所名	グループホーム 向が丘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームと同一建物内で喫茶店「寄り合い茶屋ひらばり」を運営しており、地域の顧客と利用者との交流の場となっている。多い日には30名を超える来客がある。管理者が地域の消防団に入会し、訓練に参加したり夜回りパトロールに出たりして、地域の防災に貢献している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 併設されている同法人の小規模多機能施設や近くのグループホームと共催で運営推進会議を開催しており、2ヶ月に一度の開催である。家族代表、区・福祉課長、地域包括支援センター長、自治会長、3地区の民生委員会会長、消防団長、複数の薬局から管理薬剤師、ケアマネセンターの職員等々、多彩なメンバーが集まって有益な会議運営が行われている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、区の福祉課長や地域包括支援センターのセンター長が出席し、会議の中で行政としての連絡事項を伝えている。参加した家族代表からの質問にも、丁寧に答えている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の参加を奨励する「4大レク」が、利用者、家族、職員の“絆”をより強いものとしている。春は花見外食、夏は流しそうめんやスイカ割り、秋は食の感謝祭、冬は新年会と、楽しいイベントが用意されている。新年会では、後半に家族を対象とした勉強会を行い、参加者の協議でホームの「年度目標」を決定している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎		